

# 大阪湾広域臨海環境整備センター「大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成制度」 平成30年度 助成対象の研究の決定について

「大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成制度」は、大阪湾広域臨海環境整備センターが公益事業の一環として実施しているもので、大学・研究機関等における若手研究者の調査研究に助成を行い、その成果を通じて、大阪湾圏域の海域環境再生・創造に寄与することを目的としています。このたび、平成30年度の助成対象の研究について選考を行いました。本年度の選考結果は以下の通りです。なお、事務局は特定非営利活動法人 瀬戸内海研究会議が務めました。

## ◆応募状況

平成30年4月2日～5月2日の募集期間において、「大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成制度」に、10件の応募がありました。

## ◆選考委員会概要

開催日：平成30年6月4日（月） 14：45～16：15

神戸市勤労会館407

委員：大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成制度選考委員 9名  
(特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議企画委員)

選考方法：選考委員による採点及び選考委員会での審議

## ◆選考結果

選考委員会において厳正な審査が行われ、その結果、10件の応募のうち、今年度の助成対象として次表の7件の研究が採択されました。

表 助成対象の研究一覧

(申請者氏名50音順)

申請者氏名	所属名	研究課題名
1 秋山 諭	(地独) 大阪府立環境農林水産総合研究所 研究員	埋立てに伴う地形変化が大阪湾内部生産有機物の堆積過程に与える影響評価(その2)
2 石井 健一郎	京都大学大学院人間・環境学研究科 研究員	大阪湾底泥における珪藻類休眠期細胞の分布・発生とそれに基づいた有益・有害ブルーム識別評価(その3)
3 大谷 壮介	大阪府立大学工業高等専門学校 准教授	大阪湾湾奥の運河での魚類の種多様性向上に向けた生息場創出に関する研究
4 小林 志保	京都大学大学院 農学研究科 助教	超高解像度衛星観測データを用いた河川出水時の大阪湾における河口フロントの移動の可視化と変動機構の解明
5 内藤 佳奈子	公立大学法人 県立広島大学 生命環境学部 准教授	大阪湾圏域における微量金属の分布と有毒有害プランクトン発生への寄与(その2)
6 松井 一彰	近畿大学理工学部社会環境工学科 准教授	大阪湾沿岸を対象とした薬剤耐性細菌の分布と大阪市内河川からの影響に関する研究
7 山中 智之	(地独) 大阪府立環境農林水産総合研究所 研究員	大阪湾におけるクルマエビ科小型エビ類の資源動態と環境要因の関係性の解明～主要構成種交替のメカニズム解明を通じて～(その2)